

高岡市脱炭素先行地域 環境啓発拠点整備基本構想

【概要版】

■ 基本構想の位置づけ

令和5年11月に脱炭素先行地域として採択された高岡市「中心市街地の脱炭素×資源循環で実現する環境と経済の両立「脱炭素未来都市高岡の挑戦」」において、地域課題の一つである「中心市街地の活性化・にぎわい創出」のための拠点と位置付けられている御旅屋セリオの地下1階フロアを、市民や事業者等における機運を醸成し、行動変容を促す環境啓発拠点としての必要な機能や整備方針、管理運営にかかる基本的な考え方をとりまとめたものです。

➡ 高岡市脱炭素先行地域の詳細は以下をご覧ください。

<https://www.city.takaoka.toyama.jp/soshiki/datutannsosuisinnka/3/5403.html>

■ 対象施設の概要

■ 基本情報

正式名称	御旅屋SERIO
所在地	富山県高岡市御旅屋町101番地
開業日	平成6年3月18日
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階・地上9階
敷地面積	5,908㎡
延床面積	28,538.85㎡
売場面積	延べ20,806㎡
管理者	オタヤ開発株式会社
所有者	オタヤ開発株式会社・市・ その他地権者

■ 位置図



対象施設(御旅屋セリオ)の地下1階フロアが環境啓発拠点に！

■ 環境啓発拠点の役割・機能

■ 環境啓発拠点の役割 ■

- 主に脱炭素ショールームとして脱炭素先行地域を来訪する人の受入窓口となる施設。
- 主に子どもたちが脱炭素やSDGsなど地球環境問題を楽しみ、体験しながら学ぶことが出来る施設。
- 地域企業を中心に地球環境問題等に関する取組やノウハウなどを共有できる施設。

環境啓発拠点に求められる機能

- ◆ 受付機能。
- ◆ 環境啓発拠点のみならず脱炭素先行地域の取組を紹介する機能。
- ◆ 主に子どもを対象に再生可能エネルギーの発電などが体験できる機能。
- ◆ 定期的に環境関連のイベントを実施できる機能。
- ◆ 企業等が環境関連の取組紹介や交流等ができる機能。

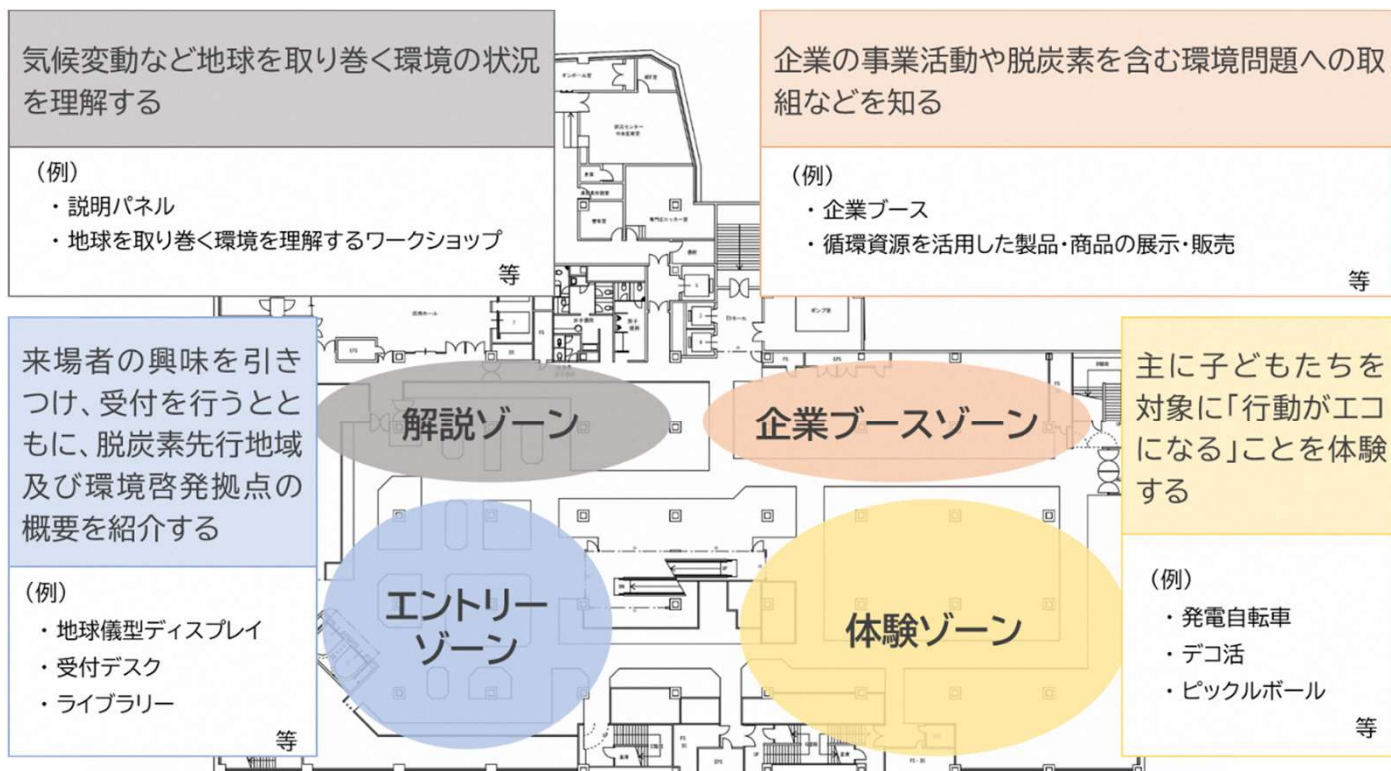
■ 基本コンセプト

< 基本コンセプト >

「楽しくなる」「ためになる」「行動がエコになる」

■ 機能配置イメージ

楽しみながらためになる、学びがあり行動変容につながるよう、①エントリーゾーン、②解説ゾーン、③企業ブースゾーン、④体験ゾーンの4つを配置します。



<エントリーゾーン>

① エントリーホール

- ・ウェイティング(待ち合わせ)スペースを設けて、脱炭素先行地域及び環境啓発拠点のマップを提示、概要を紹介
- ・大型映像による地球環境の現状とSDGsの紹介を行い、参加型のインタラクティブ展示を実現(例:地球温暖化シミュレーション)

② ライブラリー・商談スペース

- ・企業や来場者が意見交換等することが可能なスペース
- ・環境問題等に関する文献等を集積し、来場することで知識が深まる機会を提供

<解説ゾーン>

① 説明パネル等の展示

- ・子ども向けから大人・企業向けまで、地球環境問題からSDGs、脱炭素まで、間口が広い内容の説明パネルを設置
- ・脱炭素先行地域内で取り組まれている内容の紹介パネルを設置(「脱炭素ショールーム」の紹介パネル)

② ワークショップ・相談スペース

- ・子どもたちが楽しみながら学べる“場”を提供
- ・地球環境問題に取り組みたい事業者に対応する窓口や相談スペースを提供

■ 整備イメージ <エントリーゾーン>



<解説ゾーン>



<企業ブースゾーン>

① 高岡市カーボンニュートラル推進協議会会員事業者等

- ・地域企業等の事業活動や地球環境問題への取組を紹介する区画を設置
- ・区画の活用方法は、基本的に、出展企業等が決定(パネル展示、商品紹介、体験提案等)

② 脱炭素先行地域で脱炭素関連ビジネスに取り組む事業者等

- ・自社の事業活動や高岡市脱炭素先行地域内で実施している取組を紹介

<体験ゾーン>

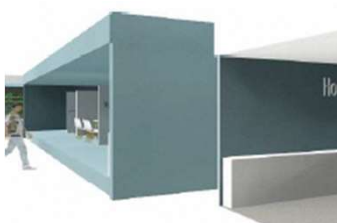
① 脱炭素遊具

- ・人力発電自転車などで体験しながら電気の大切さを学ぶことができる遊具の設置
- ・常設の遊具のみならず、リピーター確保のためにも定期的に入れ替える遊具も設置

② アクティビティスペース

- ・日常的な来場を促すためにミニテニスやピククルボールなどのコートを設置
- ・ミニイベントのためのスペースとしても活用

■ 整備イメージ <企業ブースゾーン>



<体験ゾーン>

